

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	広報に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	3	
政策	41計画の実現のために	担当課室	秘書広報課			
施策	411地方分権と市民参加の推進	担当課室長	大塚 潤一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	広報かまがや:より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。 市ホームページ等:導入されたCMSの活用による多様な行政情報の提供と、ウェブアクセシビリティの維持・向上を進めていく。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	広報かまがや:より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。 市ホームページ等:CMSの活用による多様な行政情報の提供と、ウェブアクセシビリティの維持・向上を進めていく。
②①に基づく取組み結果	広報かまがや:分かりやすい文章、写真・図・イラスト等を使用し、読みやすく親しみの持てる紙面とした。 市ホームページ等:CMSによる各所属での積極的な情報提供に加えて、ウェブアクセシビリティの維持もできている。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	広報かまがや:市内全世帯 市ホームページ等:市民	意図(対象をどうするのか)	広報かまがや・市ホームページ等の特性を活かし、子どもから高齢者まで、多くの市民に行政情報などを提供する。
②事務事業の概要		市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供を市ホームページ等で随時行う。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)		広報かまがや:昭和32年5月1日から発行。市ホームページ:平成10年9月1日から開始。 ツイッター:平成23年4月11日から開始。フェイスブック:平成26年2月3日から開始。		

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果		「広報かまがや」を年24回(毎月1日号・15日号)発行した。新聞折り込みにより各世帯に配布し、新聞未購読世帯の希望者にはポストイングを行った。また、公共施設や駅などに配置するとともに、市ホームページに掲載し、スマートフォン用アプリ「マチイロ」で配信を行った。市ホームページ等では、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供を随時行った。					
②成果を表す指標		指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	広報発行回数	24	24	24	回	業務取得
	ii	広報発行部数	39,000	39,000	39,000	部	業務取得
	iii	市ホームページ更新件数	1,457	1,957	2,983	件	業務取得
③事務事業のコスト		平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)		20,650	24,324	金額(千円)	内容	28,061	
国支出金(千円)				10,692	広報かまがや編集印刷委託		
県支出金(千円)				6,101	広報かまがや新聞折込委託		
市債その他(千円)		203	184	1,787	広報かまがやポストイング委託	550	
一般財源(千円)		20,447	24,140			27,511	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	広報かまがや:より多くの市民が閲読できる環境(配布・配置等)の整備。 市ホームページ等:ウェブアクセシビリティの維持・向上及び情報発信の充実。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政との情報共有をさらに充実させる必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越	
		H30→R1繰越			現年分	
③達成状況		補正				
④未完了・非着手の理由		流用・充当				
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				